

児童クラブだより
第91号

2018年6月20日



**失敗
したって**

大丈夫!



今年度入所児童数

3122名

(公財) 藤沢市みらい創造財団が運営する56ヶ所の児童クラブの入所児童数は昨年に引き続き過去最多となりました。このうち1年生は955名(4月1日現在)です。1年間どうぞよろしくお願いします。

こんにちは。児童クラブだより「またあした」です。「またあした」は年4回、児童クラブに通う子どもたちの成長や、児童クラブの情報をお伝えしていきます。どうぞよろしくお願いします。今号の特集は「失敗」です。失敗は成功の基という言葉がありますが、親にとって可愛いわが子が失敗する姿は辛く見ていられない気持ちになることもあるでしょう。しかし失敗体験は子どもの心を傷つけるだけののでしょうか？児童クラブでは失敗体験も大切な心の成長の一つと捉えています。子どもたちが失敗しても「大丈夫!」と言える環境が児童クラブにはあります。

児童クラブ 失敗したって大丈夫! なのは…

憧れの友だち がいるから。

児童クラブには上級生の存在があります。けん玉やこま、ドッジボールなど遊びの中で「あんな風に上手になりたいな」「どうやったらできるんだろう?」1つ2つの歳の差でも子どもにとってお兄さんお姉さんはなんでもできる憧れの存在です。少しでも近づきたいという思いは、失敗したって「大丈夫!」と挑戦する気持ちを持たせてくれます。



共感できる仲間 がいるから。

失敗した時に「どうして私は出来ないんだろう」「もっと上手にできるはずだったのに…」等と落ち込むことがあるかもしれませんが。そんな時に同じ子どもの立場だからこそ、痛みを共感してくれる友だちがいます。「大丈夫だよ」「私もそうだった!」「それって難しいんだよな〜」といつも一緒に過ごしている仲間だからこそ、わかる思いやりの言葉が「失敗したってへっちゃらだよ」と背中を押してくれます。

いろいろな高さのステップ があるから。

小学校は横割りで同じ学年の友だちと過ごしますが、児童クラブは縦割りで異年齢の友だちが関わりあって過ごしています。その為、できること、できないこと、得意なこと、不得意なこと、いろいろな高さのステップ（1歩ふみだすこと）が身の回りにあるのが児童クラブです。簡単に乗れそうなステップもあれば、ちょっと難しそうなステップもある。自分で選択して進んでいけます。失敗しても「もう一度やってみようかな」「こっちに挑戦してみようかな」と何度でもトライできる活動が毎日の中にあります。

失敗も大切な経験

子どもは発達の中で2歳児頃から「いやいや期」そして「やるやる期」に入ります。これは生まれた時から親に守られて育ち、3〜5歳頃の自我が芽生える中で「何でもできる!」という幼児的万能感を持つことをいいます。6歳頃になるとこの幼児的万能感は「そうではないのだ」と感じ始めます。この気づきとなる経験こそ失敗です。思い通りにならない、太刀打ちできない相手がいる等といった、挫折や失敗の中で心が育っていきます。児童期に失敗の経験が乏しく幼児的万能感が消失しないと、根拠のない優越感を持ち続ける中で、感情のコントロールが難しく、また対等な人間関係を築けないといった課題に直面することがあると言われています。

つい大人は子どもを思うあまり、失敗を先回りして無いものにしたり、評価的な態度をとって「失敗はいけない」と思わせてしまったりすることがあるようです。子どもの中には失敗を恐れ、挑戦することを回避するような姿も見受けられます。しかし多くの失敗体験が出来るのも子どもの特権です。気持ちを理解してくれる仲間がいる、チャレンジしてみたいことがある、そんな場だからこそ児童クラブは「失敗しても大丈夫!」その先の心の成長を大切に子どもたちと関わっていきます。



わくわく!どきどき!

夏休み・キャンプ



食事作りは夏休みに計5回実施しています。調理技術の習得を目的にしています。みんなで作るお昼ご飯は格別においしいです♪

児童クラブは夏休み期間中朝8時から開所します。夏休み中の長い1日の中でも「学習時間」や「休息（お昼寝）」の時間を設けるなどメリハリのある生活を大切に過ごしています。また夏休みならではの楽しみ「プール」での遊びや生活体験の幅を広げる「食事作り」といった活動も行っています。その他にも「他クラブ間交流」や「地域交流」、防災意識を育む「起震車体験」等各児童クラブ特色のある

活動を実施しています。そして、子どもたちが楽しみにしている宿泊を伴った「キャンプ」が行われます。「日常生活での準備段階から始まり、自然とのふれあい、仲間づくりや技術の習得などさまざまな体験をする」という目的のもと実施されます。親元を離れての宿泊キャンプは低学年の児童にとって、緊張を伴う冒険そのもの。「大丈夫だよ!」と支えてくれる上級生や日頃の仲間の存在に、力をもらい挑戦します。上級生にとってはリーダーシップを発揮したり自分の力を試したりする機会でもあります。どちらも挑戦した先の達成感と心の成長を大切に実施しています。



キャンプでの川遊び。暑い夏に冷たい川での川遊びはとても気持ち良く、笑顔が溢れる活動となっています。

みらぞう君が児童クラブにやってきました! ①

レッツゴー!

～おやつ巻～

～うさぎ児童クラブ（富士見台小学校区）～



「手作りおやつっておいしい♪」

新コーナー『みらぞう君が児童クラブにやってきました』。第1弾として今回訪れた児童クラブは、富士見台小学校区にある「うさぎ児童クラブ」。「こんにちは!」元気な挨拶でみらぞう君を迎え入れてくれた子どもたち。「みらぞう君もおやつを食べていく?」台所をのぞいてみると、子どもたちが指導員と共に果物を包丁で切り、白玉を丸めるお手伝いをしていました。この日のおやつメニューは『白玉フルーツポンチ』です。



「白玉がモチモチしていておいしい!」「ミッキーやくま、ドーナツの形の白玉があったよ!」白玉はみんなに大好評!!



「みらぞう君もいっぱい食べてね」うさぎ児童クラブのみんなは優しく、みらぞう君はおやつでお腹いっぱいです!



「あんこを上のにせてほしいな。」

「ごちそうさまでした」おやつを食べ終わった後は、使った食器を自分で洗い、当番の人がお皿をふいていました。「みらぞう君、またあそびにきてね!」



みらぞう君、次はどこに?お楽しみに!

名称も新たにスタート!

施設紹介 ほしのご児童クラブ

駒寄小学校区の「第2ちびっこ児童クラブ」は4月から「ほしのご児童クラブ」という新しい名称と新しい施設に変わりスタートしています。施設は同小学校区のちびっこ児童クラブと隣接しています。室内が広くなり子どもたちはのびのび遊べるようになりました。クラブ長は「地域の中で明るく、楽しく、親しまれるクラブを作りたい」と話していました。



第24回

子どもフェスティバル 報告

5月5日(土祝)、晴天の中「藤沢市子どもフェスティバル」が少年の森で開催され多くの来場者で賑わいました。毎年このイベントでは多くの青少年団体の皆さんと共に、児童クラブの指導員もイベントを盛り上げる一員として参加しています。今年度は2種類、「工作体験」ブースとけん玉とコマが体験できる「伝承あそび」ブースを用意。どちらも日頃から児童クラブで親しまれている遊びですが、来場者のみなさん夢中で楽しんでいました。



キラキラプレートを作ったよ

初めてコマを回した子どもたち。大喜びでした。

児童クラブ交流会 予告

今年の開催日と開催場所が決定しました!

児童クラブ交流会とは、児童・保護者・運営委員が集いスポーツを通じて交流を深める事を目的に毎年開催しています。児童クラブ交流会の企画・準備・当日の運営に至るまで、各クラブより選出された保護者実行委員のみなさんと指導員が協力し合い作り上げています。玉入れや綱引きといった運動会形式で行われる児童クラブ交流会は子どもたちにとっても楽しみな行事の一つとなっています。今年の開催日と開催場所が決まっています。詳しい日程と開催場所は、各児童クラブにてご確認ください。

北部エリア

秋葉台文化体育館

| | |
|------|------|
| 北 I | 北 II |
| 11/3 | 11/4 |
| (土祝) | (日) |

南部エリア

秩父宮記念体育館

| | |
|-------|-------|
| 南 I | 南 II |
| 12/22 | 12/23 |
| (土) | (日祝) |

第1回

運営委員長会議
保護者代表者会議

報告

5月20日(日)に藤沢青少年会館で、運営委員長会議と保護者代表者会議が開催されました。今年度の事業計画や予算についての報告の他、情報交換が行われました。



公益財団法人

藤沢市みらい創造財団

〒251-0054

藤沢市朝日町10-8 藤沢青少年会館内
放課後児童育成課

TEL 0466-21-6709

FAX 0466-28-0009

URL <http://www.f-mirai.jp>

E-mail jidouclub@f-mirai.jp

